

# 日教組香川 2019. 7



発行所 日教組香川教職員組合  
〒760-0008 高松市中野町15-24  
佐藤ビル1F

TEL 087-802-1640  
FAX 087-802-1642  
URL <http://www.jtu-k.com/>  
E-mail [jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp](mailto:jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp)

発行人 嶋村太伸  
毎月1日発行



香教組でもない、  
香教連でもない、  
高教組でもない



全国で一番なかまの多い 日教組香川へ

# 日教組香川第35回定期大会

## 「わかる授業・楽しい学校・働きやすい職場づくり」 そして「教え子を再び戦場に送るな！」

### 日教組香川はあなたの夢をサポートします

日教組香川は、6月22日(土)ルポール讃岐で、第35回定期大会を開催しました。

教育現場の超勤・多忙の問題をはじめとした勤務条件改善、教職員の賃金水準の改善、30人以下学級の実現、平和・人権・環境・民主主義を守る運動などのとりくみなどについて話し合い、2019年度運動方針を決定しました。

そして、「わかる授業・楽しい学校・働きやすい職場づくり」「教え子を再び戦場に送るな！」をメインとするスローガンを決定しました。

大会の冒頭、嶋村日教組香川委員長(1面写真④)から、「組合は組合員の夢をかなえるところで、そのためのサポートをするところです。組合員の夢をかなえるために今年度も日教組香川のプライドを胸に、組織拡大に邁進しましょう。」とあいさつがありました。

引き続き、来賓の方々のごあいさつがありました。



方針を提起する作江書記長

日教組を代表して大橋中央執行委員からは、「政治が教育に及ぼす影響から、学校現場の声を伝えられる人を議会に送ろ

う」とごあいさつがありました。

次に、連合香川の森会長からは「働き方改革を根付かし子どもとふれ合う時間を増やしていこう」とあいさつがあった後、次期参議院選挙香川選挙区候補予定者の尾田美和子さんの紹介がありました。尾田さんからは、かつて教育現場で働いていた経験から「現場の実態の大変さを改善していきたい」とごあいさつがありました。

その後、平和労組会議の廣瀬事務局長からは「沖縄の事実から平和運動をさらに進めていこう」、立憲民主党香川県連合顧問の小川衆議院議員からは「なりは小さいけど役割は大きい。ともにがんばろう」、社民党香川県連合の多田幹事長からは「公務員を増やすことで行政サービスの向上を」国民民主党香川県総支部連合会の木村副代表からは、「今

後も連携を強めて行きたい」、部落解放同盟香川県連合会の藤本執行委員からは、「差別解消に向けて、いっしょになって闘おう」、そして香川県退教協の大林会長、教職員共済東四国事業所の楓事務局長さんから、それぞれあいさつと日教組香川へのエールをいただきました。



開会のあいさつをする森川副委員長

その後、作江書記長から運動の総括と運動方針・大会スローガン案の提起がありました。

質疑、討論では、学校現場で働き方改革がなかなか進まない状況報告

を推薦しています。教職員の思いを、働くものの気持ちに分かる議員を参議院におくりましよう。もう一つは日教組香川の組織拡大です。

あらためていいですが、「組織拡大は分会にあり」です。事件は現場で起きていたというドラマの名せりふがありましたが、組織拡大は分会、つまり、職場で組合の姿を見せる以外に組合員を増やすことはできません。

毎月の情宣も、それは県下に投網を打つものだけでなく、隣りの未組合員に話しかけるツールに利用しましょう。そして、今回の増刊号に書きました。組合は夢をかなえるところで、そのサポートをするところだと。昨年度の加入者も、希望する人事異動や採用、長期不妊治療休暇制度制定のとりくみ等、未組合員の夢をかなえるためのサポートを頑張った成果です。

来年1月11日は、日教組香川再建30周年記念レセプションを計画しています。大勢の組合員で、レセプションを成功させましょう。

「わかる授業」「楽しい学校」をつくるために。

「働きやすい職場」「人間らしい生活」をするために。

平和で、一人ひとりの人権が尊重され、多様性のある社会にするために。

ここが踏ん張りどころです。

なかまを増やし、eCS(S)、Smart、Smile(笑って、楽しく)、Safety(不安なく、安心して)、そんな組合に近づくと活動をさらに続けましょう！

最後に、日教組香川は、ステキな生き方をしたい、そんなあなたを応援します。

とともに、学校事務職員、幼稚園や特別支援学校で働くなかまから実態報告がされました。

執行部からは、「さらに教職員の働き方改革を実行あるものしていく

ために、教育委員会交渉に全力をあげていく」等の答弁があり、その後執行部案が賛成多数で可決されました。

また、7月に行われる参議院選挙

にむけ、香川選挙区では「尾田美和子」比例代表では、日政連候補の「みずおか俊一」の勝利をめざしてとりくむことを確認し、定期大会を終えました。

ご来賓の方々（敬称略）

- 日教組中央執行委員 大橋由紀子(1面写真①)
- 連合香川会長 森 信夫(1面写真②)
- 参議院議員香川選挙区候補予定者 尾田美和子
- 香川県平和労組会議事務局長 廣瀬 透(1面写真③)
- 社会民主党香川県連合幹事長 多田 雄平(1面写真④)
- 立憲民主党香川県連合顧問、衆議院議員 小川 淳也(1面写真⑤)
- 国民民主党香川県総支部連合会副代表 木村 篤史(1面写真⑦)
- 部落解放同盟香川県連合会執行委員 藤本 篤哉(1面写真⑧)
- 香川県退職教職員協議会会長 大林 浅吉
- 教職員共済東四国事業所事務局長 楓 尚史

メッセージをいただいた方々（敬称略）

- 香川県知事 浜田 恵造
- 日本教職員組合中央執行委員長 岡島真砂樹
- 日政連参議院議員 神本美恵子
- 日政連参議院議員 那谷屋正義
- 日政連参議院議員比例代表候補予定者 水岡 俊一
- 国民民主党衆議院議員 玉木雄一郎
- 香川県職員連合労働組合中央執行委員長 大熊 正樹
- 部落解放同盟香川県連合会執行委員長 和泉 義博
- NPO法人香川人権研究所理事長 喜岡 淳
- 香川県人権・同和教育研究協議会会長 奈良 博史
- 四国学院労働組合執行委員長 重永 哲也
- 高知教職員組合執行委員長 谷田 憲一
- 愛媛教職員組合執行委員長 加地 理司
- 徳島県教職員組合委員長 小原 伸二
- 岡山県教職員組合執行委員長 鳥越 範博

メッセージ

日教組香川教職員組合の第35回定期大会が開催されますことを、お喜び申し上げます。

嶋村中央執行委員長をはじめ皆様方には、固い結束の下、子どもたちのより良い教育と組合員の権利保障のために活発な活動を展開されており、深く敬意を表します。

現在、グローバル化の一層の進展やAIに代表される技術の革新など、内外の情勢が著しく急速に変化する時代にあり、子どもたちが、様々な変化に主体的に向き合うとともに、よりよい社会を築いていこうとする力を養うことが重要になっています。

香川県では、新しい時代を支える子どもたちに何が重要かという視点に立ち、「香川の将来を担う子どもたちを育てる」ことを重点施策の一つに掲げ、児童生徒の確かな学力の育成や問題行動の防止などに取り組んでいます。

今後も引き続き、児童生徒の多様な実態に応じた指導や体制の工夫、新学習指導要領への対応などに向けた取り組みへの支援を、積極的に行ってまいります。

どうか、子どもたちを学校現場の第一線でご指導されている皆様方には、子どもたちの夢と笑顔を大切に教育の実現のために、一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

(中略)

結びに、大会のご盛会と、皆様方のますますのご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

令和元年6月22日

香川県知事 浜田 恵造

嶋村日教組香川委員長あつこ

この4月学校現場で起きたことを思い出してください。

そう、それは4月1日に、本来いなければならない教職員がいらない、ということなんです。加配部分だけでなく、定数内の教職員未配状況だったことです。以前から、他県では話を聞いていたことが、とうとう香川に来てしまったことに、さらに、教員採用試験の受験者数が減っていることも含め、「ブラック学校」と言わざるを得ません。

先日、OECD国際教員指導環境調査2018が発表になりましたが、過労死ラインと言われる月80時間を超える教員が未だ多く存在し、様々な業務で疲弊しきっています。文科省や県教委、市町教委が様々なプランを提示しても実質的な労働時間の短縮は実感できるものではありません。

今後、月45時間の上限ガイドラインでは、調整手当4%で、45時間ただ働きOK、さらに現行の多忙化解消に何もつながらない1年間の変形労働時間制が導入されようとしている中、県条例、規則改正の動きに対して、日教組香川は教職員団体として、協議を深めていかなければなりません。

日教組香川は、日教組とともに、職場を「働き方改革」の軸に据え、業務の見直し、定数改善等必要な人員の配置、給特法の廃止・抜本的な見直しの3つのベストミックスを求めるとともに、すべての教職員が「働き方改革」の効果を実感できるようにとりくみを強化していきます。

そのための一つは参議院選挙です。香川選挙区では、みずおか俊一さん





# 気軽におしゃべり、 JTU-カフェ開催中

2019年7月18日(木) 18:30~20:00  
日教組香川事務所(高松市中野町15-24 佐藤ビル1F)


相談ごとなどありましたら、お気軽にお越しください。飲み物とお菓子を用意しています。電話やファックスでの相談もできます。なお、日教組香川組合員で無い方も歓迎です。ただし、その場合、お茶代500円をいただきます。

## 職場での悩みごと、ご相談受け付けます

教職員のためだけの共済だから

# 自動車共済

こんなにスゴイ制度ができました

<p><b>スゴイ ①</b></p> <p>「公務中」「通勤中」の事故は等級ダウンなし!</p>	<p><b>通勤中の事故</b></p>	<p>補償充実コース6等級以上なら「等級据置」だから更新時の掛金アップなし! 1共済期間につき1回</p>	
<p><b>スゴイ ②</b></p> <p>「事故有係数」を使用した等級割引制度は不採用!</p>	<p><b>公務中の事故</b></p>	<p>どの契約コースでも「等級据置」だから更新時の掛金アップなし! 多くの損害保険会社や共済で導入されている「事故有係数」を使用した等級割引制度は不採用!</p>	
<p><b>スゴイ ③</b></p> <p>「教職員の立場」をしっかりと理解した事故対応</p>	<p><b>通常の等級ダウン事故の場合でも</b></p>	<p>正式起訴を回避できるような確かなアドバイスをさせていただき、円満解決をめざします。</p>	

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東四国事業所 TEL 0120-27-8140 FAX 0800-200-2207

## カナリア通信 笑顔を運ぶ野菜たち

◆生活科で野菜を作っています  
◆世話のしやすさを考えて、野菜を作る深さのある大きめのプランターで作った年もありましたが、今年は学級園に直植しました◆例年通り連休後すぐに、ミニトマトはそれぞれの植木鉢に植えて、キュウリ・ナス・ピーマンを数本ずつ畑に植えました。苗は早どれの物を選んで・・・◆六月中頃から畑の野菜がとれ始めました。それぞれの野菜を担当した子が一つずつ持って帰ります。野菜を見つけた子どもは目を輝かせ、自分が持つて帰る番が来ると笑顔いっぱいになります◆六月下旬になると、ミニトマトも赤くなりました◆「今日は、トマトとキュウリでサラダを作ってもらうんだ。」「トマトが五個とれたから、家族みんなで一つずつ食べたよ。」と、嬉しい声も聴けて、わたしも笑顔です。

# 県教育長「教職員のなり手がないような状況は避けたい」

6月4日(火)、日教組香川は、香川県教育委員会と勤務条件改善等に関して交渉を行いました。

交渉にあたり、嶋村中央執行委員長他5名、県教委からは工代教育長他12名が出席しました。

特に、今回の交渉では、「ブラック学校」と言われている中、4月1日に教職員がいない、という危機的状況が生まれてしまったことを踏まえ、県教委の「教職員の働き方改革プラン」に関する具体的な実行について要求しました。そして、日教組香川から、解決策として、中学校では部活、小学校では香小研の改善を要望しました。

以下は、県教委との交渉経過の概略です。

## 文科省通知も踏まえながら「教職員の働き方改革プラン」の内容の見直しを図っていく

日教組香川「教職員の超勤・多忙化解消に向け、「学校における働き方改革に関するとり組みの徹底について(通知)」について取組を進めること」

県教委「文部科学省の通知も踏まえながら、必要に応じて「教職員の働き方改革プラン」の内容の見直しを図っていく」

日教組香川「通知に沿って取組をする中で、教職員団体と協議はするのか」

県教委「協議していく」

日教組香川「市町教育委員会の取組の状況を調査し、明らかにするとともに、不十分な点については指導すること。さらに、所管および域内の市町が設置する学校に対して周知が図られ、校長がその権限と責任を踏まえて適切に対応するよう指導すること」

県教委「市町教育委員会の取組状況は定期的に調査し把握している。文部科学省の通知については、市町教育委員会に対し、通知を踏まえた取組みの継続と、学校への周知及び指導・助言を行うよう通知している」

日教組香川「周知及び指導・助言は行っているのか」

県教委「教育長会で説明した。推進状況調査を2回行っている。今年度も調査を行っている。」

日教組「校長に対する指導は」

県教委「校長の目標申告の中に、働き方改革の項目を入れた。学校訪問でも、必ず働き方改革に関して聞いている」

## 36協定、市町教育委員会が適切な処理を行う

日教組香川「学校事務における「共同実施」の確立と学校事務職員への権限委譲を進め、学校事務職員の拡充や職務の明確化、効率化を行うこと」

県教委「学校事務職員については、義務標準法に則って配置している」

日教組香川「各学校現場で「36協定」を結ぶよう、市町教育委員会を通じて各学校長に周知、徹底するこ

と」

県教委「36協定については、事務職員のサービスを監督する市町教育委員会が適切な処理を行うものと考え

## 臨時・非常勤教職員、雇用条件は検討する

日教組香川「現在の学校教育に不可欠な臨時採用教職員が、不安定な雇用状況にあることを認識し、継続的な任用に努力すること。また、学校現場に必要な配置ができるよう、雇用条件の改善を行うこと」

県教委「臨時・非常勤教職員については、適切な任用に努めている。雇用条件については、国や他の都道府県の動向等にも留意しながら検討してまいりたい」

## 教員の賃金水準は中位、事務職員は低位の認識

日教組香川「教職員の賃金水準の引き上げを行うとともに、今後、賃金カットを行わないように努力すること。また、賃金の決定にあたっては、教職員団体と十分な協議を行うこと。さらに、公務・学校現場になじまない能力・実績主義に基づく賃金・処遇への反映は拙速に行わないこと。」

県教委「人事委員会の勧告を尊重するというを基本として対応すべきものと考えている。給与に関する協議についても適切に対応したいと考えている。なお、同勧告を踏まえ、昇給及び勤務手当に勤務実績を反映させているところである」

日教組香川「行政職はラスが低く、県職連合は中位に上げる取り組みをしている。そこで、学校事務職員の賃金が低いという認識はあるのか」

県教委「低いという認識をしている」

日教組香川「教員の部分は、中位くらいとかつて答弁があったが、その認識でいいのか」

県教委「中位くらいと認識している」

## 不妊治療は、病気休暇の承認で

日教組香川「長期間の不妊治療が可能となる休暇制度を新設すること。また、職場での不妊治療をしている教職員に対して、十分な配慮をするよう、市町教育委員会や校長を指導すること」

県教委「不妊治療の内容によっては、男性・女性それぞれに病気休暇の承認ができるものもあるため、申請前に管理職に相談するよう周知している。病気休暇の申請に係る事前相談について、相談があったことや相談内容について、教職員のプライバシーに十分配慮するよう周知している」

## 「みんなですすめる人権・同和教育」 全教職員が持っているはずだ

日教組香川「人権・同和教育の充実をさらに進めるこ



と」  
**県教委**「人権・同和教育の充実が必要であると考えており、今後とも新たな人権課題を加えながら各種研修会等に取り組んでいきたい。今年度から、若年教職員（経験年数15年以内）を対象とした新たな研修を開始する」

**日教組香川**「「みんなですすめる人権・同和教育」（改訂版）を全教職員に配付するとともに、初任者研修や校内研修での活用を図るよう指導すること。「みんなですすめる人権・同和教育」に、LGBTの子どもたちや教職員が過ごしやすい学校にするための視点を追記すること」

**県教委**「「みんなですすめる人権・同和教育」の再改訂版については、平成29年3月に発行し、ホームページに掲載するとともに、初任者研修会での活用や各学校への配布を行ったところである。教育センターのホームページ内の「オンライン研修サイト」に「みんなですすめる人権・同和教育（改訂版）」を掲載するとともに、eラーニング教材として「学校におけるLGBT等の子どもたちへの対応について」もアップした」

**日教組香川**「ハンドブックの全員配布は無理なのか」  
**県教委**「全員の教職員が持っているはずだ。新しい内容は、ホームページにアップし、挟み込めるようにしている。LGBTの課題は、クイズをやりながら覚えていける状況をつくっている」

### 子どもの人権を尊重し 適切な対応を行うことが必要

**日教組香川**「すべての子どもや保護者のニーズにあった「インクルーシブ教育」を推進すること。また、県下の教育が活性化し、「インクルーシブ教育」の充実を図るため、小・中学校と特別支援学校との人事交流を積極的に行うこと。さらに、特別支援学校における人事配置に関しては、障害種別免許をもっているなど、その専門性を十分に考慮すること」

**県教委**「すべての小・中学校、高校では、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会が設置されるなど、支援体制の整備は進んでいるところである。障害にあるなしに関わらず、子どもの人権を尊重し適切な対応を行うことが必要である」

### 専門的な知識を身につける方法として、 小中と特別支援学校との人事交流も一つだ

**日教組香川**「教育長は、3月県議会で、リベラル香川の高田議員の質問に対して「小中学校の教員を特別支援学校に人事交流させることについては、交流によって小中学校教員の特別支援教育に関する専門性を高めることができ、小中学校に戻った際に、所属する学校の特別支援教育の重要な担い手となることや、他の教員への波及効果が期待されることから、これまでも本人の希望等を考慮しながら行ってきたところです。県

教育委員会といたしましては、今後とも特別支援教育に関する理解の促進と専門性の向上の観点を踏まえ、小中学校と特別支援学校との人事交流を進めてまいりたいと考えております」と答弁していることを確認したいが」

**県教委**「確認する」

**日教組香川**「小中学校での特別支援教育に対するニーズの高まりに、現場は追ついていけない。義務教育課と特別支援教育課の連携が必要では」

**県教委**「教職員が、どのように関わるかで子どもの将来が変わっていく。専門的な知識を身につける方法として、人事交流も一つだと考えている。また、個人の能力を高めるだけでなく、学校全体としての力も高めていきたいと考えている」

### 全国学調、点数のみをもって終始するなら 本来の目的を逸脱している

**日教組香川**「学校や地域の序列化につながるおそれがある全国学力・学習状況調査や県学習状況調査の結果を数値で公表しないように、引き続き市町教育委員会や学校に働きかけること。」

**県教委**「全国学力・学習状況調査及び県学習状況調査の実施要領に基づき適切に実施している」

**日教組**「昨年の交渉での答弁で「数字で子どもや学校を評価してはいけない」とあったが、変わりはないのか」

**県教委**「総合的に分析して、これからどうしていくかが大切。点数のみをもって、終始するなら本来の目的を逸脱している」



工代県教育長

### 今後ともともに考えていきたい

**教育長**「働き方改革については、国の規制的な方針が出たが、県としては今後も自発的に取組を進めていきたい。そして、市町教委はもっと自発的に行ってほしい。現場の意識改革をさらに進め、教職員のなり手がいないような状況は避けたいと思っている。今度ともともに考えていきたい」

## 6. 4県教委交渉

日教組香川



**働き方改革を進めよう**



**ブラック学校では教職員がいなくなる**



香川県教委

詳細は6・7面に